

## 満願寺宝篋印塔



|        |  |
|--------|--|
| 指定区分   | 県指定重要文化財(建造物)  |
| 読みかた   | まんがんじほうきょういんとう   |
| 所在地    | 倉敷市真備町辻田   |
| 指定年月日  | 昭和31年4月1日  |
| 解説     | 鎌倉時代末から南北朝時代(14世紀ごろ)の作と推定される宝篋印塔。花崗岩製で、高さは3.15mを測る。元来この地には満願寺という真言宗の寺があったが、高梁川の水害で寺は流失し、洪水後は再建されずに近くの森泉寺に移動した。この宝篋印塔も土中に埋没していたが、享保9年(1724)に発見され、満願寺跡に残されている。 |
| アクセス方法 |  |
| 公開状況   | 外観のみ   |
| 設備     |  |
| 備考     |  |